

NPO 法人スバ・ランカ協会

春日井市石尾台4-2-20 0568-92-0955 [subalanka@tea.odn.ne.jp](mailto:subalanka@tea.odn.ne.jp)

スバ・ランカ通信 No.12 2009年9月8日

<報告> 島の北西海岸部でスバ・ランカ農園を開設しました。

会員のみなさんとそのお友だち・ご家族、122人の方からの寄付金と第一物産株式会社(愛知県小牧市)からの多額な支援を基に、2009年8月31日、スリランカの北西海岸部のプッタラム市から車で20分のナゲマドゥワ村にある約3600坪のカシューナッツの森を譲り受けることができました。皆様のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。

翌日9月1日には、この森をスバ・ランカ農園と命名しました。農園は、南インドとの中継半島都市であるマンナーラマを経て北部の古都ジャフナに通ずる幹線道路沿いにあり、北部の復興とともに、往来が盛んになる所です。

譲渡までには紆余曲折があり、一時はどうなることかと心配しました。寄付をお願いした折に譲り受ける予定であったカシューの森は、兄弟姉妹で所有しているものわかりました。内戦の終了後、この近辺の土地価格は約60%値上がりし、以前の価格で売ることには了解が得られないという状況となり、結局、全員の同意が得られませんでした。こんな中、幹線道路沿いにあり、店舗と住居の2つの家があり、カシューナッツが約120本植えられている好条件の場所が見つかり、価格は予定の2倍を越えていましたが、何とか対応できる範囲でしたので、即座に譲り受けることにしました。

毎年、下刈りをし、整備していけば、3月~5月ごろに、あと15年は多くの収穫が望めます。また、空いている場所には、政府の農業試験所からカシューナッツの苗木を買い、新たに植樹します。苗は堆肥を一度入れるだけで放置しても成育し、およそ3年後には実を付けます。無農薬です。本来、カシューは海岸部の土壤にあう種実であるため栽培は難しくありません。今後、無農薬カシューナッツの増産に努め、この農園を軸にして、スバ・ランカ協会の活動資金を確保して行きたいと思っています。

<連絡>

1. 衣替えの時期にお願い

まだまだ残暑の厳しい頃とはおもいますが、その一方で、衣替えの時期が近づいても来ました。私たち協会はいらなくなった夏服を求めています。処分する夏服がありましたら、下記までお送りくださいませ。スリランカで役立たせたいと思っています。男女、子供を問わず、夏服であれば、何でも結構です。

〒487-0006

春日井市石尾台4-2-20 大岩 碩

TEL: 0568-92-0955

2. 疲れた心を癒すスリランカの民族舞踊

ワールドリンク(株)代表取締役 S.M.P. サマラクーンさんから以下の連絡が入りました。趣旨に賛同し、皆様にお勧めすることにしました。よろしければ、ふるってご参加ください。なお、パンフレットご希望の方は、PDFファイルでお送りできま

すのでおっしゃってください。

<趣旨> 今回我が社が主催になってスリランカ大使館、ノリタケ会社と共に、長年内戦で疲れ果てたその国の多民族が一つの家族としてスリランカと言う国を発展させようと努力する姿を見にその国へ行って欲しい、その国が二度と内戦と言う苦しい面に合わないようになら彼らを誘導して欲しいと言うメッセージを出来るだけ多くの日本の方々に強く伝えたいと言う目的でスリランカ民族舞踊'と言うイベントを皆様にご紹介する事に致しました。どうぞよろしく願いいたします。

平成21年9月19日 名古屋市公会堂、1990席（全席自由）、  
当日販売 3000円  
主催 ワールドリンク株式会社、Tel: 052-799-5658, 052-799-5659,

以上です。